2022～2023　会　報　ＲＩ第2720地区

Rotary

The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算３１５８回
２０２３年４月２１日
第３１回例会

IMAGINE ROTARY

2022～2023年度　ＲＩ会長
ジェニファーE.ジョーンズ

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎㉒2171　例会場　事務局　清流山水花 あゆの里内 ☎㉔6665 ㊫㉔6505

人吉ロータリークラブ ホームページ　フェイスブックページ　[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2022～2023年度 人吉ロータリークラブテーマ
ロータリーを機会と捉え、その機会により未来を拓く

本日の例会

国歌斉唱・Ｒソング斉唱

来訪者紹介　会長の時間

入会式

幹事報告、出席率報告、会務報告

母子の健康月間　外部卓話

熊本県赤十字血液センター所長　米村 雄士氏

寄付カード

点　鐘　　青木一幸 会長

歌　唱　　ｿﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ 岡本明徳委員長

国 歌　「君が代」
Ｒ Ｓ　「それでこそロータリー」

司会・進行　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　小笠原賢治委員長

来訪者紹介

熊本県赤十字血液センター所長　米村 雄士 様

会長の時間

会長　青木一幸

皆さん、こんにちは。

先週は地区大会、お疲れさまでした。ホストクラブ、コ・ホストクラブは肥後大津と熊本南ではありましたが、人吉開催ということでしたので、日曜のエクスカーションだけでなく、本大会も何等かのお手伝いをと思い、カレチャーパレス会議室での例会に変更したところでした。もっとも、参加者の到着が正午ごろからと遅めであったことなどもあり、地元クラブとしてのサポート活動のために早めにご参集いただいたにも関わらず、結果的には少し時間を持て余すような感じにもなり申し訳ございませんでした。ただ、友愛の広場もはじめは閑散としていましたので、その点からは少しは我々が賑わいの雰囲気づくりにお役に立てたのではと思っております。なお、日曜の球磨カントリーでのゴルフコンペは盛況で、１８０名を超える多数の参加を得て、天候にも恵まれ、皆さん大変プレーと球磨の自然を満喫してお帰りになったようです。担当の中川会員には大変ご苦労をおかけいたしました。改めて御礼を申し上げます。

さて、ロータリーでは、今月は「母子の健康月間」になっています。４月が母子の健康月間となったのは、２０１４年１０月のＲＩ理事会以降ですが、そこでは、①５歳未満の幼児および妊婦の死亡率と罹患率の削減、②妊婦の死亡率と罹患率の削減③より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、地域社会の医療・保健関係のリーダーと医療提供者を対象とした母子の健康に関する研修、④母子の健康に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金の支援、を重点目標とすることが決議されました。尚、２０２２年１０月のＲＩ理事会において、母子の健康月間は４月から７月への移動が決定されています。従って、２７２０地区としても来年度の年間スケジュールはそれに合わせる形になるのではと思いますので、北年度では、その点ご留意いただければと思います。

さて本日は、外部卓話として、熊本県赤十字血液センター所長の米村雄士所長を講師としてお招きいたしました。米村所長は熊本大学医学部を卒業後、そのまま医局に勤務され、熊本大学病院の血液内科・細胞治療部で永らく研究と臨床に従事、その後令和３年４月より現職に就任されております。職務柄、献血のお話が中心になろうかとは思いますが、その他血液に関する様々なお話、とりわけ妊娠中の母子のつながりという点では血液は重要な役割を担うものでしょうから、そのあたりのお話ももしも今日のお題に関連があるようでしたらお聞かせいただければ幸いです。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

ところで、個人的に、血液と聞いて最近真っ先に頭に思い浮かびますのは私の大学の友人のことです。その友人は７－８年ほど前にＤＮＡ由来といっていまし

たが、ある時から腎臓の機能が急激に低下し、結局、移植手術を受けることになりました。そしてだれから腎臓を提供してもらったかと言うと、長年連れ添う奥さんから片方の腎臓をもらい受けたそうです。夫婦とは言え、言うまでもなく全くの他人ですし、血液型もうろ覚えですが、たぶん違ったのではなかったかと思います。従って、移植当初は予想どおり全身に拒絶反応が出て大変な思いとしたとのことでした。ただ、近年の医療の発達は目覚ましいものがあるのでしょう、移植と同時に的確に免疫抑制剤を投与することで徐々に体中に出ていた拒絶反応は消えて行き、今はアルコールもそこそこ飲みますし、見た目は我々と全く変わらぬ生活を送っています。もっとも、今でも免疫抑制剤は続けて服用していて、そのせいで、ここ数年のコロナ禍の中では、感染は絶対に避ける必要があるとのことで、そちらの対策の方がむしろ大変だったようです。

昔のテレビドラマ、例えば覚えておられるでしょうか、大映製作の赤いシリーズなどでは、親子で移植や輸血を行う際に血液型を調べて、そこで自分が認識していた血液型とは違うことが判明して、主人公の出自にまつわる問題が露呈するといった場面が良くありました。しかし昨今の医療技術を持ってすれば、血液型が違っていても最新の免疫抑制剤を使用することで、相当程度の問題はクリアできるようですので、そうなると今後のテレビドラマの作り方もかなり変わっていくだろうなといらぬ心配をしたところです。もっともこの友人の話など、素人の私の耳学問の範囲のことですので、もしも正確でないようでしたら本日参集いただいたドクターの会員の皆さんに訂正をいただきたいと思います。

ただ、いくら医療が発達したとはいえ、奥さんが臓器提供するケースは、この友人の場合も含めレアなケースだろうと私個人は思っていましたが、先日、ＮＨＫだったか、何かのニュースか番組で見ましたのは、夫婦間での臓器提供は最近増加傾向にあるようです。婚姻率の低下傾向が少子化問題の主要因として語られることが多い昨今ですが、この報道を見て私としては、既婚者における“きづなの深化度”という指標のようなものがもしあるとすれば、その度合いは最近ではむしろ高まってきているのかもしれないと、若干の驚きとともにある種の希望をもってそのような推測をしたところでした。

以上、母子の健康のテーマから、最後は夫婦間のきづなの話と、随分横道に逸れてしまいましたが、この後、新会員の入会式、米村先生の卓話とプログラムが続きますので、私の話はこれくらいにして、会長の時間を終わりたいと思います。ご清聴、有難うございました。

幹事報告

幹事　加登住 亮

≪連絡事項≫
・地区大会参加御礼（回覧）
・例会変更･取り止めのお知らせ（回覧）
　熊本城東、八代東、熊本西南、熊本南、熊本東南
・ハイライトよねやま４月号（回覧）
・指宿ＲＣ週報（回覧）
・人吉医療センター広報誌（回覧）

入　会　式

米田幸司会員

・米田幸司（よねだこうじ） 新会員紹介　　推薦者　堤　正博会員
生年月日：1972.11.23（51歳）
勤 務 先：熊本銀行人吉支店
役　　職：支店長
職業分類：商業銀行
ロータリー歴：牛深RC（2017.4月～2020.3月）
趣味：ランニング　これまで53回フルマラソン出場
ランニングが趣味で早朝から十数キロ走られることが多いようです。お酒は好きですが、遅くまでのお付き合いが出来るかどうか…それでも親しくお付き合い宜しくお願いいたします。

・米田幸司新会員挨拶
熊本銀行人吉支店の米田と申します。堤様のご推薦により、この度人吉ロータリークラブに入会させて頂くことになりました。趣味のマラソンにほとんど時間を使っておりましてゴルフの経験がありませんのでご理解いただければと思っております。皆様ご指導宜しくお願い申し上げます。

・ロータリーバッジ贈呈

・援助する会員の指名　　Ｒ情報委員 石蔵尚之
浦田委員長にかわりましてご報告いたします。
本日、4月21日午前11時から、葉山葬祭すみれホールにて、葉山副委員長とともに米田さんのオリエンテーションを行いました。これまでもロータリアンとして活動してこられましたので必要ないのかなと思いましたが、ロータリアンとしての特権と責務について深めたところです。
Ｒ情報委員会は新会員がクラブに溶け込めるよう、援助する会員を指名することとなっております。そこで、米田会員の推薦者でもあります堤会員にお願いいたします。堤会員、どうぞ宜しくお願いします。

・所属委員会の発表　　幹事 加登住 亮
米田会員は役員として「監査」をお願い致します。所属委員会は「ＳＡＡ」と「社会奉仕委員会」です。宜しくお願いいたします。

出席率報告

現　会　員　数	48	出席免除会員数	1名
出席義務会員数	47名	本日の出席率	
欠　席　者　数	15名	68.75%	
出　席　者　数	32名		
免除会員出席数	1名	ZOOM(4)　会場(29)	

会務報告

【職業奉仕委員会】　　副委員長　本田　節

優良職員表彰の推薦状について

表彰準備等がございますので提出を4月25日までにお願いいたします。宜しくお願い致します。

【プログラム委員会】

４月　母子の健康月間　外部卓話

講師紹介　青木一幸会長

講師　米村（よねむら）　雄士（ゆうじ）　様

熊本県赤十字血液センター所長
熊本大学病院輸血・細胞治療部客員教授

学歴
1977年3月31日　熊本県立熊本高校卒業
1978年4月1日　熊本大学医学部入学
1984年3月24日　同卒業
1988年4月1日　熊本大学大学院医学研究科博士過程入学
1992年3月25日　同　修了（医学博士）

輸血と献血

１．　略歴
私の研究、診療の履歴
私の研究の出発

２．　輸血の安全対策
過誤輸血報告件数（1995～2013）
日本の輸血過誤状況別発生件数

３．　赤血球製使用ガイドライン
・科学的根拠に基づいた赤血球製剤の使用ガイドライン日本輸血・細胞治療学会
・赤血球製剤保存期限違いによる多施設ランダム化比較試験

４．　臍帯血移植
・造血幹細胞移植件数の年次推移　移植種類別
・造血幹細胞移植件数の年次推移　幹細胞種類別
・臍帯血バンク移植症例数

５．　宗教的輸血拒否
・宗教的輸血拒否に関するガイドライン
・未成年者における輸血同意と拒否のフローチャート

６．　熊本震災の教訓
熊本震災での対応は　これでよかったのか？

熊本の地震では、我々は色んなことを経験し、災害医療の重要性についても再認識しました。そこで今回、私たちが経験したことを振り返って、災害医療についてどのように向き合って行った方が良いのかを自分なりに考えてみましたのでご紹介したいと思います。

平成28年熊本地震発生後の状況と輸血医療への影響

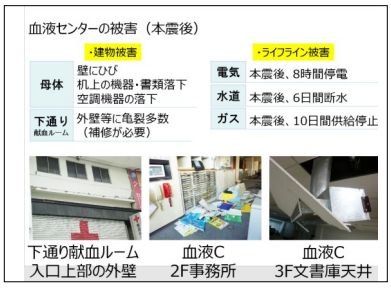
熊本県合同輸血療法委員会代表世話人
熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部　副部長
米村雄士

平成28年4月14日と16日に発生した熊本地震で、多くの方が被災され自宅などが全壊や半壊になって、現在でも避難所や親戚の家に身を寄せている方が多くおられます。写真１は本震の翌日に撮った写真ですが、私の自宅前の市道に石垣が崩落し土砂が覆いつくし、石垣の上にあった収納庫は自宅の門扉寸前まで転がってきました。現在は、石垣、土砂、収納庫、石垣の上に立っていた家も撤去され、1m四方ほどの土嚢が縦に3個、全部で50個ほど積み上げられ、土砂の崩落を防いでいます。早く、建置ブロックの工事が始まることを期待しています。

写真1．地震後翌日の石垣の崩落と土砂

輸血細胞治療学会e-NEWS臨時号2016年6月

発災直後から2週間の間、全国から日赤救護班228チーム日々100人が入れ替わりながら総勢約1500名（4/14～5/9）が集結いたしました。それは壮観な光景でした。ここに石巻赤十字病院がありますが、中でも一早い到着だったそうです。



血液センターの被害（本震後）

・建物被害
母体：壁にひび／机上の機器・書類落下／空調機器の落下
下通り献血ルーム：外壁等に亀裂多数（補修が必要）

・ライフライン被害
電気：本震後、8時間停電
水道：本震後、6日間断水
ガス：本震後、10日間供給停止

下通り献血ルーム 入口上部の外壁
血液C 2F事務所
血液C 3F文書庫天井

本震後の血液センターの建物被害は、壁にひび、機器や書類が落下したり、空調機器が落下するなどの被害を受けました。電気は停電後に自家発電に切り替わりました、８時間後に回復しました。　水は６日、ガスは１０日供給が停止しました。幸いにして電話や光回線は問題なく使用でき、外部との情報共有は比較的容易でした。

自家発電用燃料・軽油＝6日間稼動可能（メーカーは3日間）　地下タンクに4000Lと屋上に700L。
現在は九州ブロックが管内センター含め指定スタンドと一括契約締結している水道＝受水槽には1週間程度の断水に耐えられるが、全国の救護班の使用もあり4/19に不足恐れ、　県支部から県災害対策本部へ水の補給依頼し27トンを給水。

本震直後

・保管機器、車両等に異常なし。
・館内は停電から自家発電に切り替わる。
・長期化に備えドライアイスの購入と保管容器、冷却機器バッテリーの充電。

・FAX、TELに異常なし
・主要医療機関との通信状況を確認。

もしも、通信が遮断されていたら・・・

31

幸いなことに各保管機器、車両とも大きな損傷はありませんでした。管内は自家発電に切り替わりましたが、停電の長期化も予想されたことから、ドライアイスを購入するなど、非常事態に備いました。
通信状況にも異常なかったので、まず主要医療機関には連絡が上手く取れるか確認を行いました。
もし通信が遮断されていたらもっと事態は大きく変わっていたと思われます。

・地震直後の血液製剤の受注状況
・県内の4月の供給状況　発生後の翌週 前年度比
・血液事業の広域需給管理体制
・九州ブロックからの血液確保と輸送時間
・献血　施設別の休止状況4/15～

熊本地震の教訓
・災害時の輸血製剤の確保と供給体制の情報確認を迅速に行う。
・広域災害救急医療情報システム（EMIS）により医療機関の災害状況を共有し、患者搬送や診療を継続するために、県内の連携を強化し、医療支援体制を外部からもギャップを生じることなく、切れ目なく行う。
・災害時医療救護マニュアルを作成して、医療の体制を具体的にシミレーションしておくことは、大変重要であり、各病院もマニュアルを作成し、緊急連絡網やチェックリストの整備を常時行っておくべきである。
・自分の住んでいるところのハザードマップを普段からよく見て、その対策を考えておく。
・医療機関・血液センター・行政間の連携体制関係者会を通じて災害時情報共有ネットワークの更なる研究が必要。

７．　血液事業報告
・令和７年度（2025年度）までの達成目標
・重点的な取組みについて
・年代別献血者数と献血量の推移
・年齢別献血可能人口と献血率
・血液製剤とは
・主な血液製剤の種類と用途等
・安全性に関する検査項目一覧
・日本における輸血後肝炎発症率の推移
・採血年別輸血後ウイルス感染症の推移と安全対策の効果

８．　献血の重要性
献血は何故大事なのか
1. 輸血製剤は献血によって作られている
2. 輸血製剤は有限の資源で貴重である
3. 安価で、質の良い輸血製剤に代わる
製剤を現在作れていない

熊本県内一年間で約75000名の献血者が必要
1日あたり200名必要です
どうぞよろしくお願い申し上げます

【寄付カード】

〈ニコニコ箱委員会〉
・**青木会長**　米村先生、ご多忙の中、卓話ありがとうございました。
・**友永会員**　米村雄士先生、貴重なご講演ありがとうございました。大変参考になりました。
・**増田会員**　①米村先生、御講演ありがとうございました。②地区大会欠席しました。すみません。
・**北会員**　米村所長、卓話ありがとうございました。つばめタクシーは毎年血液搬送乗務員教育を受講させて頂き、高速バスから受け取った血液のリレーを行っています。人命のかかった大切な仕事を今後とも続けてまいりたいと思います。本日はありがとうございました。
・**堤会員**　〇熊本銀行米田支店長を宜しくお願いします。〇4月の誕生お祝いをいただきました。〇4月の結婚誕生祝いをいただきました。〇地区大会で高齢者出席者の表彰状をいただきました。
・**石蔵会員**　米田支店長、ご入会おめでとうございます。ゴルフも楽しみにしています。
・**井手会員**　米田支店長、ご入会おめでとうございます。一緒にロータリーを楽しみましょう。

〈Ｒ財団委員会〉
・**中川会員**　地区大会のゴルフ大会で入賞された皆様おめでとうございます。また、参加して頂いた皆様ありがとうございました。
・**片岡会員**　10人目の孫が生まれました。地区大会高齢者出席者表彰をいただきました。

〈人吉奨学基金委員会〉
・**片岡会員**　Ｒ財団カードと同文

点 鐘　　青木一幸 会長